

14 寿恵野小学校スクールガード

(豊田市)

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

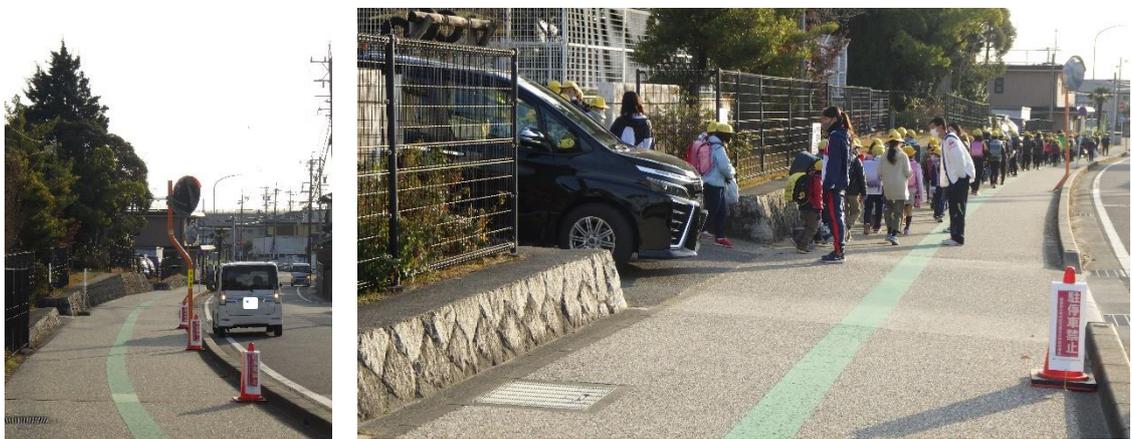
1 団体名	寿恵野小学校スクールガード
2 事業名	寿恵野小学校の子供の登下校安全推進事業
3 事業実施結果	<p>1 子供の見守り活動の体制強化 (A事業)</p> <p>本団体の活動範囲は寿恵野小学校区全域です。毎日、各方面に分かれて児童の登下校に付き添い、入学当初の歩みの遅い新入生に寄り添って歩いたり、危険な歩行をする児童に対しては優しく注意をうながしたりするなど、児童の安全確保に向けた活動を実施しました。</p> <p>『登下校中の見守り』</p> 

開催されています。その会を通して防犯・交通安全意識の高揚を図るよう、会に出席して下さるスクールガードのメンバーや保護者に配付する、防犯・交通安全啓発うちわを作成しました。



『下校時の児童の安全経路確保』

下校時に、自家用車で迎えに来る保護者が学校駐車場内に自家用車を止めきれず、校地外に路上駐車列ができる場合があります。児童や周囲の車の安全上、大変危険であるため、駐停車をやめるように学校メールで配信し、路上駐車が起りやすい位置に、駐停車禁止看板を設置しました。看板の設置を開始した当初は効果が表れ、駐停車車両に視界を遮られることなく、児童は安全に登下校することができるようになりました。



『防犯パトロールマグネットの作成』

地区をパトロールする際に車に貼り付けるマグネットプレートを作成しました。



(1) 事業実施の成果及び課題

地域自主防犯活動活発化促進事業の申請時に、必要とされる防犯資材を洗い出しました。本来なら予算が無く諦めていた物品がたくさんリストアップされました。その中から、子供たちの安全という視点で購入の優先順位を決めていきました。今回購入させていただいた物品は上記の通り有効に活用し成果をあげています。今回購入には至らなかった物品は、市の補助を活用させていただきながら、今後少しずつ整備していきたいと考えています。

(2) 今後の取組み

4 成果と
課題及
び今後
の取組
み

「地域で見守る寿恵野っ子」を合い言葉に、寿恵野地区は、子供たちの安全を地域で守ろうとする気風があります。登下校の付き添いだけでなく、通学路の危険箇所の把握、犯罪防止等、スクールガードを中心に、地域で子供たちの安全確保に努めています。一方、生活スタイルの変化は保護者の自家用車での迎えるの台数増に表れており、毎年のように増え続け、駐車場に入りきれない自家用車が市道に駐停車し、道路を通行する運転手からの苦情が学校に寄せられています。

また、学区内には自動車工場や高速道路のインターチェンジがあり、自家用車の渋滞や流通業のトラックが年々増加していて交通環境があまりよくありません。子供たちの安全を確保するためには、今後益々、地域の方々の協力を得ながら危険箇所の情報を速やかに共有する機会と、地域と連携した通学路整備を市に要望する必要があると感じています。寿恵野小学校区には交通安全推進協議会が設置され、各地区の区長や小学校長、こども園園長も委員となっています。さらに地域の発展会議では子供たちを含めた地域住民の安全確保のための話し合いが行われています。今後も各団体ができることに取り組み続けながら、さらに長期的な視点に立って学区の安全を協議し、実現に向け活動することも必要であると感じています。